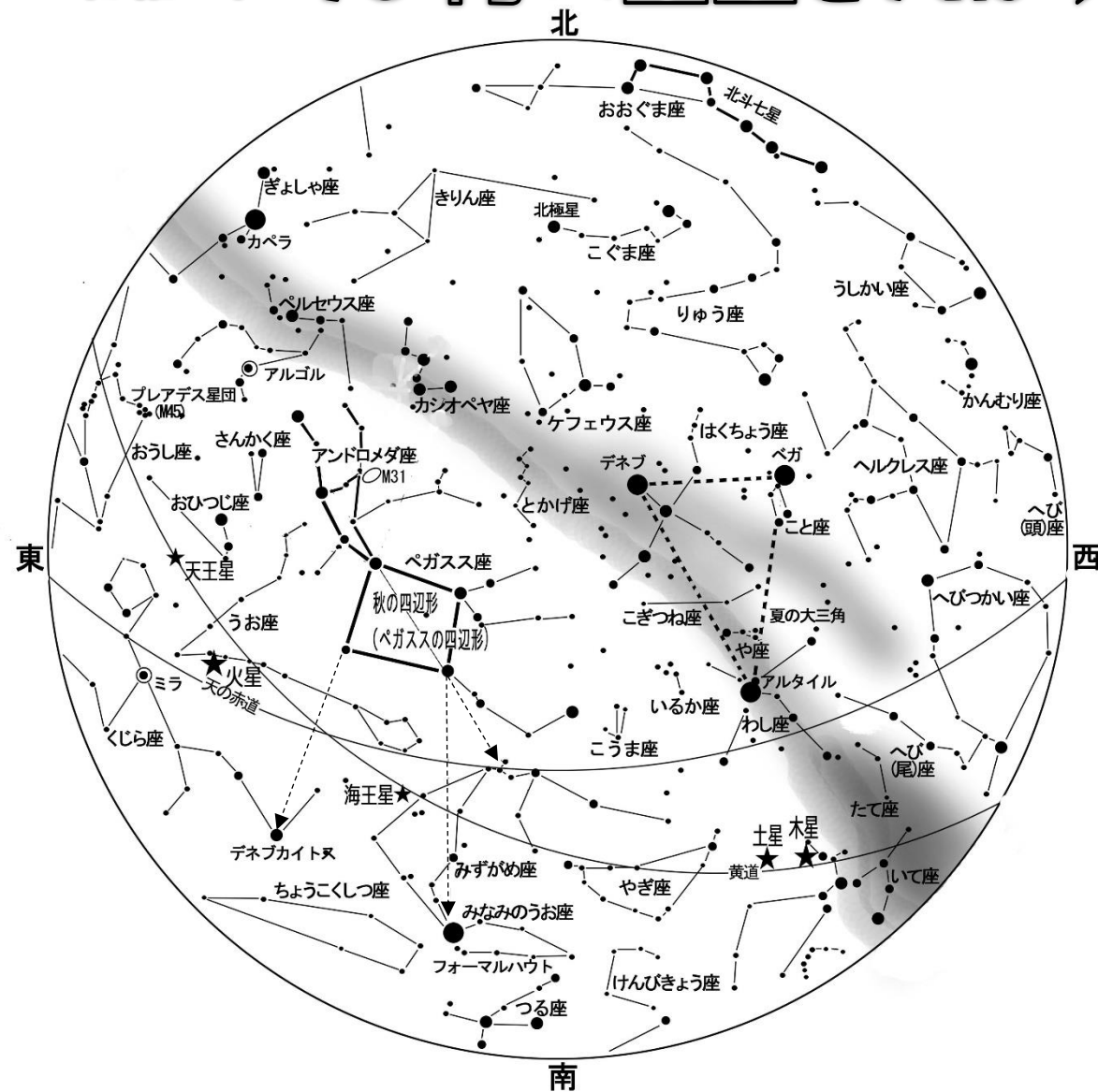


令和2年 10月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



★10月の星空案内

今月の星座探しの案内役は、頭の真上あたりにある、腕を伸ばしたときに握り拳より一回り大きい四角形の星の並び『秋の四辺形』です。『秋の四辺形』はペガサス座の一部で、『ペガサスの四辺形』とも言われています。まず、『秋の四辺形』の西(右)の辺を南にのばしていくと、秋の星座をつくる星で唯一の1等星フォーマルハウトを見つけることができます。ここにはみなみのうお座があります。次に、『秋の四辺形』の北東角(左上)と南西角(右下)の星を結びそのまま南西の方へと伸ばしていくと、小さな「アルファベットのYの字」のような星の並びが見つかります。この星の並びは『三ツ矢』とよばれ、みずがめ座の目印です。そして、『秋の四辺形』の東(左)の辺を南にのばしていくと見つかる星は、くじら座の2等星デネブカイトスです。デネブカイトスは「くじらのしっぽ」という意味で、その名の通りくじらのしっぽの部分で輝いています。さらに、『秋の四辺形』の東(左)の辺と南(下)の辺の外側を沿うように並ぶ「アルファベットのVの字」のような星の並びは、うお座です。うお座は明るい星が少ないので見つけにくいのですが、今月はうお座のあたりで火星が明るく輝いているので、火星をたよりに探してみるとよいでしょう。

秋の夜長は、『秋の四辺形』をたよりに星空散歩を楽しんではいかがでしょうか。

< 現在見える惑星 >

水星(1.7等前後) : おとめ座付近	観測に適さない。
金星(-4.0等前後) : しし座→おとめ座付近	夜明け前、東の低空で輝く。
火星(-2.4等前後) : うお座付近	21時頃、南東の空で明るく輝く。
木星(-2.2等前後) : いて座付近	21時頃、南西の低空で明るく輝く。
土星(0.5等前後) : いて座付近	21時頃、南西の低空で輝く。

注目の天文現象 ～赤っぽく輝く2つの星に注目しよう～

10月の夜空では、赤っぽく輝く2つの星に注目してみましょう。1つは、2年2ヶ月ごとに地球に接近する火星です。最接近の6日には、-2.6等で輝き、10月いっぱいには-2等以上の明るさで輝く火星を楽しむことができます。火星は表面が赤さび(酸化鉄)で覆われているため赤っぽく見えています。そしてもう1つの赤っぽく輝く星は、くじら座のミラです。ミラは星の表面の温度が低いため、赤っぽく輝いて見えています。ミラは明るさが変わる星(変光星)として知られており、約332日周期で、2等から10等くらいまで明るさが変化します。今年は、10月14日に最も明るく輝くと予想されていますが10日前後ずれてもおかしくはありませんので、10月に入ったら継続して観察してみるとよいでしょう。最も明るくなったとしても3等前後と予想されていますので、月明りの影響が少ない10日以降の観察がお勧めです。

明るい星が少ない秋の夜空で、2つの星の輝きをお楽しみください。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
1	木	中秋の名月	15	木	火星が衝：観望の好期(06:06)
2	金	○ 満月 (06:05)	17	土	● 新月 (04:31)
6	火	火星が最接近(23:18)	23	金	☾ 上弦 (22:23)
10	土	☾ 下弦 (09:40)	31	土	○ 満月 (23:49)